

# 普及やいま

第145号

発行

八重山農林水産振興センター  
農業改良普及課

沖縄県石垣市真栄里438-1  
Tel. 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

Tel. 0980-87-2354(代)

## 甘しょ種苗植付前の土壌診断は大事です！

甘しょ栽培の適正土壌pHは5.0~7.0です。低pH条件下(約4.5未満)で栽培すると、地上部の生育が停滞し、葉脈間が黄化する症状が発生します。回避策としては、炭カル等の石灰資材の施用が重要となります。ただし、症状が発生してから、炭カルを20kg/10aで株元施用しても、一時的に、症状は回復しますが、収量が低下することは否めません。苗の定植前に土壌を適正pHに改善することが重要です。



黒色点線より上段の圃場では低pHによる生育障害が生じている



生育障害株の様子



炭カルの株元施用で生育が回復した株の様子

**作付け前の土壌診断が、甘しょ栽培の効率化に繋がります！**

(担当：大城)

## 野生鳥類による被害はありませんか??

畜舎の周りに、カラスやスズメ、ハト、クジャクなどの野生鳥類が侵入している・・・と感じたことはありますか？肉用牛生産者に聞き取り調査と牛舎のカメラ撮影を行った結果、約9割の方が「被害がある」と回答しました。牛舎では、主にカラス・スズメが飛来し、飼料の盗食だけでなく、糞による牛舎の汚染や、カラスが肥育牛をつつく様子も撮影されたことから、経済的な被害だけでなく、牛舎衛生・家畜の快適性にも影響を及ぼしていると考えられます。

被害の防止だけでなく、生態系のバランスを保つ意味でも餌場となる畜舎の対策を実施し、野生鳥類被害を減らしましょう！



防鳥ネット設置による侵入対策



カラスの侵入・盗食被害



スズメによる肥育飼料の盗食



クジャクの侵入・盗食被害

(担当：本田)



## カボチャ栽培の季節です

～病害虫・風対策、きちんと準備しましょう～



### 定植準備

- ・高畝で排水対策
- ・植付前に深耕を行う
- ・マルチの利用  
(肥料流亡防止 & 雑草管理の省力化)
- ・敷草は株元まで  
(土はね防止で病害リスク減)



### 季節風対策

### 果実の肥大

- ・着果後、20日間で果実肥大の勝負。特に、10日目までに十分な灌水を行うこと！
- ・写真の大きさになったらカボチャシートを敷く。
- ・日焼け防止で品質向上



### ウイルス病対策

- ・防風ネット、ソルゴーで圃場を囲む
- ・周辺露地のウリ科野菜(植物)を除去する
- ・ウドンコ病、褐斑細菌病は早めの対策を！  
→下葉の枯れ上がり防止

### 病害虫対策

(担当:我那覇)

**レタス等葉物野菜の生産者は必ずお読みください！**

### 生産段階における葉物野菜の衛生管理の徹底について

平成30年6月、関東近郊において葉野菜が要因と疑われる腸管出血性大腸菌O-157の食中毒・感染症が発生しました。そこで、野菜の衛生管理の強化を呼びかけています。

レタス等の葉物野菜を栽培する生産者におかれましては、改めて「栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針」を活用した衛生管理を徹底していただくようお願いします。

「栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針」(農林水産省ホームページ)

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k\\_yasai/pdf/sisin.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_yasai/pdf/sisin.pdf)

(担当:我那覇、舞木)

## マンゴー 天敵利用による害虫防除技術が普及中

### 天敵とは？

ある生物を食べる別の生物のこと。  
たとえば、ネズミにとってのネコなど。

### 天敵のスワルスキーカブリダニ

(天敵は非常に小さく、1パックの中に250頭入っています。10aあたり、200～300パックを使用します。)



### 効果は？

生物で生物を防除するので、化学農薬に比べればシャープな効果ではないですが、うまく行けば害虫を長期間抑制します。平成30年に利用した6農家へのアンケートでは、全員「満足」と回答されました。また、天敵利用と慣行防除での収益性を比較すると、天敵利用の方が10aあたり4～15万円程高い(収入プラス)という結果でした。

### 八重山での利用は？

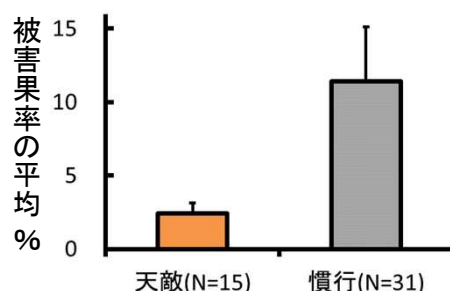
西表島を中心に普及拡大中で、平成28年には0%だった利用面積率が、30年には40%になりました！

### 害虫のチャノキイロアザミウマとその被害果実



### マンゴー栽培ではどう使う？

害虫「チャノキイロアザミウマ」に対する天敵として「スワルスキーカブリダニ」が農薬登録され、販売されています(右上写真)。ただし、普通の農薬とは使い方がまったく異なりますので、利用を検討されている方は、以下に留意してください。



天敵利用と慣行防除ほ場での、チャノキイロアザミウマによる被害果率の比較  
(平成30年の調査結果)

### ここがポイント！

- 1) まずは、農業改良普及課やJAなどに相談を！
- 2) 農薬の選択と使用時期がとっても重要！
- 3) 注文方法やビニールの有無など計画性が重要！
- 4) 天敵放飼前後の害虫と天敵の観察が重要！

## ◎ 八重山のマンゴー、受賞トピックス

### 第11回 沖縄県マンゴーコンテスト (7月20日実施)

石垣市の羽地功さんが、昨年に引き続き優良賞を受賞しました！審査員からは、果実のきれいな赤色の評価が高く、糖度も16.4度と高品質でした。市場出荷を前提としているコンテストですが、ハサミによる収穫を行っている方は、来年挑戦してみませんか？



### 平成30年度 九州・沖縄地区青年農業者会議 (7月25日、長崎県)

竹富町西表島の平井伯享さん(写真中央)が、プロジェクト発表の部に沖縄県代表として参加し、「目指せ！西表島マンゴー“ていらら”のブランド化 ～積算温度でピンポイント収穫～」と題し発表した結果、見事優秀賞を獲得しました！“ていらら”は、収穫タイミングが見た目で判断できず、4年前は可販率50%でしたが、積算温度計の利用により90%にまで高まりました。科学的な検証と努力、わかりやすい技術、さらに県への波及効果が高く評価されました。



(担当：貴島)

# 八重山から新指導農業士3名誕生!



中央は県農林水産部 島尻部長、後方右端から玉代勢氏、眞榮城氏

9月11日(火)、那覇市において「平成30年度沖縄県農業士等の認定式」が行われ、県内で青年農業士(2名)、指導農業士(8名)、女性農業士(1名)が県知事より認定証の交付を受け、認定されました。また、名誉女性農業士(1名)が感謝状を授与されました。認定されました。八重山地区から指導農業士(3名)が誕生しました。

眞榮城美保子さんが、新指導農業士の代表者挨拶をしました。認定式後は、新指導士と沖縄県指導士会会員で交流を深めました。

**眞榮城 玄鉄氏**  
(指導農業士)  
(石垣市:  
肉用牛繁殖)



平成19年に就農。子牛育成技術も高く、市場評価が高い子牛を生産。小学生の職場体験、畜産を志す学生の研修を受け入れるなど担い手育成にも尽力。  
人工授精師として、石垣島北部地域の人工授精を引き受け、地域の子牛改良に取り組み中。

**眞榮城 美保子氏**  
(指導農業士)  
(石垣市:  
肉用牛繁殖)



平成19年から畜産に従事。家族経営協定を締結し認定農業者となり、農業研修生を受け入れるなど担い手育成にも尽力。  
同世代の畜産農家女性と情報発信やネットワークづくりで技術の研鑽に努めている。

**玉代勢 元氏**  
(指導農業士)  
(竹富町黒島:  
肉用牛繁殖)



平成15年に青年農業士に認定、黒島農業青年クラブ結成時のメンバーとして組織作りや農業実習生を受入れるなど、担い手育成に尽力。  
県の畜産共進会でも県知事賞を受賞する等技術面でも高く評価されている。

(担当:白玉)

## 今日からできる! GAP(良い・農業の・実践) Good・Agricultural・Practice

- GAPで実践するポイントには以下のものがあります。  
例:
- ◎ 農薬の使用を記録簿に記録している。
  - ◎ 登録農薬だけを使用している。
  - ◎ 農薬散布機使用後は、タンク、ホース、ノズルの内外、その他農薬が付着したすべての部分を洗浄している。
  - ◎ 肥料が効率的に作物へ利用される技術に取り組んでいる。
  - ◎ 土壌診断に基づいて適正な施肥をしている。
  - ◎ 収穫された農産物が汚染されないようにしている …など

記録は  
カレンダー  
への記入  
もOK



農薬保管庫は鍵付きで、「農薬保管庫」と明記。

GAPの取り組みは、

**改善+5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)+記録+法令遵守の**

持続的取り組みです。より良い農業の実践を目指しましょう。

(担当:白玉)